

かけはし 町民と議会を結ぶ情報誌



▲みやざき県民総合スポーツ祭交流の部 3B体操 於：新富町体育館

●新議長に長 濱 博議員を選出

●新富町の将来の姿と道筋決まる

●東日本大震災被災地に支援金

●防災無線受信機の賃借料を無料に

6月定例議会

新議長に長濱博議員

新人5人

新しい町議会は新人5名が加わり、5月2日に臨時議会を開会し、議会の構成を行いました。議員による選挙で、議長は長濱博議員、副議長は小嶋崇嗣議員が選出されました。議長により3常任委員会及び5特別委員会の構成が行われ、各委員会の中で、委員長及び副委員長を選出しました。



長濱博 議長



小嶋崇嗣 副議長

先の統一地方選挙において、新たな議員5名を含む14名が選出されました。本県及び本町は昨年の口蹄疫、今年の鳥フルと大きな被害をこうむり、また、新燃岳の降灰は作物農家にまで影響を与え、本町に辛いものでした。そして、3月11日の東日本大震災の発生は、津波の映像に人の無力さを感じ、自然の恐ろしさをまざまざと見せ付けられました。

大変な状況の中でのスタートではございますが、国も地方も力を合わせて、被災地域の復興に向け理解を示し、私たちの町も復興への足がかりとなるべく、町づくりへの一歩を踏み出さなければなりません。

議長挨拶

今年、第5次長期総合計画で基本構想、基本計画が示されます。人口減少やゾーニングの問題等、バランスのとれた町づくりを町民の皆様が期待されておられます。高齢化の進む中、社会保障は大きな課題となっており、医療、介護、子育て等の給付のほとんどは地方自治体が担っており、この役割は大変大きなものです。



よろしくお願ひします！

〈前列右から〉 櫻井 小嶋 長濱 永友 下村 三浦 丹 倉永 高野 比江島 増永 阿萬

〈後列右から〉 小嶋 崇嗣 高野 賢治 城 吉信 副委員長 櫻井 盛生 委員長 櫻井 盛生

総務常任委員会

- 委員長 城 吉信
- 副委員長 倉永 豪修
- 委員 三浦 千尋
- 比江島 義秋
- 阿萬 誠郎

産業建設常任委員会

- 委員長 永友 繁喜
- 副委員長 増永 逸雄
- 委員 櫻井 盛生
- 長濱 博

文教厚生常任委員会

- 委員長 下村 豊
- 副委員長 圖師 孝一
- 委員 小嶋 崇嗣
- 丹 邦敏
- 高野 賢治

議会運営委員会

- 委員長 三浦 千尋
- 副委員長 小嶋 崇嗣
- 委員 城 吉信
- 永友 繁喜
- 下村 豊

基地対策特別委員会

- 委員長 櫻井 盛生
- 副委員長 比江島 義秋
- 委員 三浦 千尋
- 永友 繁喜
- 丹 邦敏
- 倉永 豪修

米軍の新田原基地使用調査特別委員会

- 委員長 小嶋 崇嗣
- 副委員長 櫻井 盛生
- 委員 議長除く全員

議会広報特別委員会

- 委員長 城 吉信
- 副委員長 下村 豊
- 委員 永友 繁喜
- 高野 賢治
- 増永 逸雄
- 阿萬 誠郎

情報通信基盤整備に関する調査特別委員会

- 委員長 小嶋 崇嗣
- 副委員長 高野 賢治
- 委員 城 吉信
- 永友 繁喜
- 下村 豊
- 阿萬 誠郎

農業委員

- 圖師 孝一

監査委員

- 比江島 義秋

町民の暮らしはどんげなっど?!

新富町の将来の姿決まる!

6月定例議会

新富町の6月の定例議会は、9日(木)から22日(水)まで14日間の会期で開かれました。この議会には継続審議になっていた「第5次新富町長期総合計画基本構想」を追加し、23年度の補正予算(一般会計と3特別会計等)のほかに、国民健康保険税条例の改正など条例の改正4件、人事案件3件、協議1件及び請願4件が提案されました。本会議と委員会で慎重かつ活発な議論の結果、全議案を原案どおり決定しました。

議案審議では、一般会計補正予算の防災対策の早期見直しや復興関連予算、国民健康保険特別会計補正予算では国保税率などが議論の中心となりました。

一般質問には9人の議員が登壇し、町長の政治姿勢や町政の課題等について活発な論戦を展開しました。なお、今議会の傍聴者は延べ49名でした。

基本構想

町の将来の姿と進む道筋

委員会審議20時間

「第5次新富町長期総合計画基本構想」は、平成23年度から平成33年度を目標年次とする町政の最上位の計画です。

本格的な人口減少時代の到来、経済社会のグローバル化といった時代の潮流を的確に踏まえて、新富町が目指す将来の姿と進むべき

道筋を明らかにするものです。付託された総務委員会では、5月2日から週1回、約20時間の慎重審議を重ねました。各種団体、機関及び有識者から幅広い意見を聞く、審議会への諮問が出来なかつたことは疑問が幾分残る部分もあるものの、より具

体的な行政執行を要望し、委員会では全員一致で可決しました。本会議は、総務委員長が委員会における審議の経過と結果を議長に報告の後、討論が行われ、討議が進行しました。

下村豊議員は、「内容の充実と長期総合計画等審議会の審議を受けるべきである」との理由で反対討論を行いました。比江島義秋議員は、「昨年の災害を乗り越えて作成されてきた。

新富町の夢の実現に向けた構想であり賛成する。なお、審議会の審議を経なかつたことについては反省を求め、賛成討論を行いました。裁決結果、賛成多数で原案どおり可決しました。



大震災へ見舞金を300万円

今回の一般会計補正予算は、2億337万2千円を増額し、歳入歳出総額は、74億3775万9千円になります。

口蹄疫でお見舞いをいただいたお礼として、東児湯5町で1500万円抛出(3県へ500万円ずつ寄付)するため、大震災地域への見舞金300万円を計上。その他、避難施設等の海抜表示、防災行政無線の無料設置を事業所等へ拡大、大震災しんとみ支援隊補助金、口蹄疫復興と大震災支援プレミアム商品券発行事業補助金等です。西体育館は大規模修理を行います。付託された総務常任委員会及び本会議においては、全員一致で原案どおり可決しました。

国保税の税率据え置き

国民健康保険特別会計補正予算は、国民健康保険税の税率を据え置き、療養給付費の伸び率を5%増と見込み、納付金や交付金が確定したことにより、補正額は5146万2千円を減額して、総額が25億2776万8千円になります。

昨年度の口蹄疫被害畜産農家の戸別補償で、課税限度額を超過した世帯の増加により税率の変更はありません。被保険者数は年々減少し、保険給付費は毎年のびていきます。高齢化が進むので、医療費も年々増加しています。付託された文教厚生委員会の審議では、高齢者の健康維持・増進施策、病気の早期発見のため健康診断の受診



防災等の情報収集は大丈夫ですか？

率向上、高すぎる保険税の負担軽減への取組みなどが議論になり、賛成多数で可決しました。本会議では、「口蹄疫被害農家等に対する国保税の減免要望を行った提案者として、道義的責任を感じる」と、小嶋崇嗣議員が反対討議を行いました。採決の結果、賛成多数で可決しました。

無線放送施設設置条例の改正により、事務所や事業所に設置する無線放送受信機の賃借料が無料になります。東日本大震災の教訓から、防災に対する認識が一段と高まり、情報伝達に関する防災対策が改善されました。各事業所等は早めに申し込んで、防災能力を高めて下さい。

事務所など無線放送受信機無料に

6月定例議会議案及び議決結果

議案	議決日	賛成	反対
第5次新富町長期総合計画基本構想の策定	6月22日	11	1
平成23年度新富町一般会計補正予算	〃	12	0
平成23年度新富町国民健康保険特別会計補正予算	〃	9	3
平成23年度新富町介護保険特別会計補正予算	〃	12	0
平成23年度新富町水道事業会計補正予算	〃	12	0
新富町無線放送施設設置条例の一部改正	〃	12	0
新富町税条例の一部改正	〃	12	0
新富町国民健康保険税条例の一部改正	〃	12	0
新富町水道事業の設置等に関する条例の一部改正	〃	12	0
区域外における公の施設の設置に関する協議	〃	12	0
教育委員会委員の任命について	6月13日	同意	
教育委員会委員の任命について	〃	同意	
人件擁護委員会候補者の推薦に伴う意見をもとめることについて	6月9日	同意	

臨時議会

5月27日(金)第5回臨時議会が開かれました。議案は、「役場庁舎1階フロアの総合窓口用備品等購入契約の締結について」、議会の議決を求めるものでした。

入札は4月15日、議会の議決又は町長による専決を経ることなく、契約金額は、798万円、4月18日に本契約がなされていました。議案が議決しないことには、契約が無効の状態であり、追認する形になりましたが、賛成多数で可決しました。議会は、再発防止を強く求め、町長からは再発防止へ向けた決意とその取り組みが示されました。

※700万円以上の財産取得は、議会の議決が必要

どんげなったか?!

請願

請願4件を受理し、所管の常任委員会に付託、慎重審議されました。請願は2件が採択、2件が継続審議になりました。

採択された請願

◎350万人のウイルス性肝炎患者の救済に関する意見書の採択を求める請願書
・請願者
すべての肝炎患者の救済を求める宮崎の会



代表 小倉悦子

・紹介議員 小嶋宗嗣

・全員賛成

・要旨

肝炎対策基本法が施行され、B型・C型肝炎の感染は国の責任で、すべての肝炎患者を救済することを国の責務と定めた。しかしながら、国の肝炎対策基本指針の策定、必要な個別法の制定、予算措置が行わなければ患者の救済は進まない。このため、国は必要な措置を講ずること。

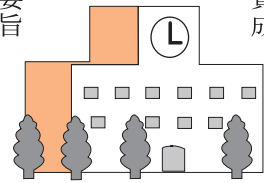
※国会及び関係省庁へ意見書を提出しました。

◎30人以下学級の実現・義務教育国庫負担制度拡充に係る意見書の提出を求める請願書

・請願者
宮崎県教職員組合児湯支部新富地区協議会
議長 中村紀生
紹介議員 圖師孝一

一部採択により全員賛成

一部採択により全員賛成



・要旨

きめ細かい教育の実現のためには少人数学級、30人以下学級とすること。教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度の堅持とともに国庫負担割合を2分の1に還元すること等。なお、奨学金制度について、「貸与」から「給付」方式に改善することについては、公平性及び地方自治体の奨学金制度への影響を懸念し、この部分を除き一部採択になりました。

※国会及び関係省庁へ意見書を提出しました。

◎新田西地区の生活環境の改善に関する請願

継続審議となつた請願

◎生命財産を守っている一ツ瀬川堤防の早期整備を求める請願

・請願者
新田7区長(代表者)
中須区長 濱砂金松
紹介議員 丹 邦敏

・要旨

新田7地区は一ツ瀬川流域で生活している。平成17年の台風で洪水を体験した。県の調査で堤防の欠陥が周知されず、その後の遮水工事はされたが、堤防は整備されていない。堤防の早期整備着工を県へ要請して欲しい。必要内容の精査のため継続審議になりました。

◎新田原基地周辺住宅防音工事に伴う事業拡大についてのお願

請願者

新田6区長(代表者)

伊倉区長 河野直

紹介議員 丹 邦敏

・要旨

1 生活環境整備に関する道路用排水路の整備
2 農業用排水路、農道の整備
3 緊急車両の移動搬入の為に道路整備
4 災害時の緊急避難道路の整備

・陳情者

※執行部への要望が未実施で、広範囲に及ぶ環境整備のため、継続審議になりました。

住宅防音工事新富地区協会
会長 黒木 正範
西都・新富・佐土原住宅防音設計連絡会
新富地区設計事務所
代表 三嶋 俊一

陳情

※防衛省への要望活動に活用します。



住宅街の上空を編隊で離陸



一般質問

町政を問う

6月定例議会では、20日5名、21日4名の議員が一般質問をおこないました。
質問方式は、一問一答方式で、議員の持ち時間は一人30分です。



小嶋 崇嗣 議員

問 基地騒音に対して町の基本的な考え方は。

答 航空機騒音は町民の大きな負担となっているので、周辺住民の皆さんが特別な被害を受けるのは不公平。国が定めた環境基準では周辺地域において環境基準が達成され、維持されるよう努めることとされている。国の施

基
策
災
対
長
防
地
課

防音工事対象何年前の住宅か

最後の告示平成5年7月1日

問 策なので国が防音工事などの対策をしっかりと取るべきである。飛行場は第1種空港相当と定められている。これによれば85W以上の区域は5年以内、75W以上の区域は10年以内に軽減することとなっている。新富町で防音工事対象となるのは何年前に建築された

答 平成5年7月1日が最後の告示です。国が定めた環境基準を守らないのは理解できない。最低でも環境基準であり5年、10年で防音工事をするべきである。告示後18年も経っている。町の対応は。

問 住宅か。
答 告示を廃止して、新築住宅も含めて防

問 防音工事の補助金や調整交付金等の予算についても新富町は減額されている。強く要望してもらいたい。
答 しっかりと要望していきたい。

小嶋議員は次の質問も行いました。〈東日本大震災に鑑み見直しや改善について、消防団員確保、町政の情報公開、街路灯の設置基準等、6次産業への取り組み、情報通信基盤整備の進捗状況〉